

読者のみなさまへ 三重FPフォーラム2008 IN 松阪

「医療保険から介護保険に切り替わるとどうなるの?」、「母が倒れた。早期のリハビリって!?」、「介護施設はどのぐらいの期間いられるの?」等々、こんなときどうしたらよいだろう? という疑問や、知っておくと安心出来る医療や介護にまつわるお話を、わかりやすく伝える無料セミナーを開催します。当日先着180名様まで聴講可能です。他にもファイナンシャル・プランナーによる個別無料相談会(先着18組:要予約)も同時開催します。是非ご来場ください。

【日時】9月21日(日) 13:30~15:10
【場所】松阪市産業振興センター3F

無料ライフプランセミナー

【演題】「知っているとかんなに安心 ~医療から介護へそして医療へ~」
【講師】田中宏樹 氏 (ファイナンシャル・プランナー 社会福祉士)

ファイナンシャル・プランナーによる個人無料相談会

家計診断・資産運用・不動産運用・住宅、教育、老後資金・住宅ローン保険の見直し・年金・介護・相続・事業承継 等々、ご相談ください。

① 13:30~ ② 14:30~ ③ 15:30~

先着18組
要予約
(50分)

主催者 NPO法人 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会三重支部
予約先 フリーダイヤル: 0120-874-018 (10時~4時 土日祝除く)
FAX: 052-563-4645 E-mail: mie@jafp.or.jp

読者のみなさまへ 「きこえ」で困っていませんか?

「聞こえない」ことは、外から見ても分かりません。そのせいで誤解や困難も起こりがち。でもほんの少しの知識と気付きで、解決する問題もたくさんあります。そのような「きこえ」でお困りの方や、その周囲の方々へ、私たちは様々なお役立ち情報をお届けしたいと願っています。どうぞお気軽にお越しください。

【日時】・10月5日(日)【体験談と会話のコツ】
・10月19日(日)【便利な道具と制度の話】
・11月9日(日)【補聴器講演会】

※全日程 13:00~16:00 (開場 12:30)
【場所】松阪市市民活動センター(大会議室)

参加費無料 申込不要

独立行政法人福祉医療機構 長寿・子育て・障害者基金助成事業 「きこえのバリアフリーサポート事業」

連絡先 三重パソコン要約筆記サークル この日は ホームページ: <http://mie-pcy.hp.infoseek.co.jp/>
メール: mie_pcy@yahoo.co.jp TEL/FAX: 059-356-0803(横山方)

ブンカ交流館 ニュース



10月開講の秋期講座 着々と準備中!

7月より始めました夏期「ブンカの交流館」では、韓国語講座やメタボ体操、マジックなど新たな講座も開講いたしました。現在10月から開講いたします秋期講座に向けまして、また新たな講座の開講へと準備を始めております。

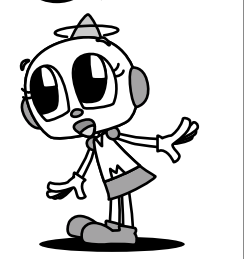
このブンカの交流館は、NPO法人が開催するカルチャースクールとして、目的は「営利」ではなく「まちづくり」を基本としています。そして「まちづくり」としてできる事、それを「空き店舗活用」と考えました。ブンカの交流館の教室を開講当初から「ベルタウン(松阪駅前通商店街)」としていますのは、そういった意味からです。そして私たちが考える「まちづくり」には「ひと」とがとても重要です。たくさんの「ひと」が「まち」に訪れる。「ひと」と「まち」の交流、それが「ブンカの交流館」です。

営利を目的としておりませんので、入会金は一切不要です。どうぞ10月から始まる秋期講座にご期待ください。

秋期講座の受講生募集は9月初旬より開始いたします。講座の詳細は、新聞折込や松阪市施設などに設置いたします総合チラシをご覧ください。インターネットで下記のホームページからチェックしてください。(お電話でのご請求も承ります。) また現在開講中の講座で随時参加受付中の講座もございます。ぜひお問い合わせください。

総合チラシの請求先・お問い合わせ → **ブンカの交流館事務局 0598-23-8400** (濱田) **ホームページ** → <http://www.m-bridge.jp/bunka/index.html>

楽しみ
楽しみ~!



書籍の森



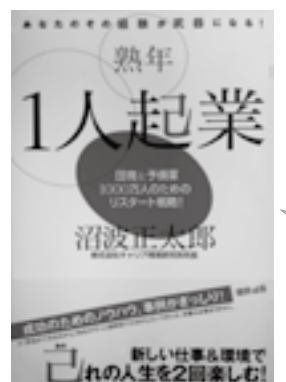
いよいよ退職を迎えるお父さんへ 先日、同窓会通知の「参加」欄に書かれた丸を見て、「あら、珍しい」とお母さんと目配せした。典型的な「会社人間」も、そろそろ退職後の仲間が欲しくなってきたのかな。「仕事は好きだが、体がキツイ」なんて弱みを見せるようになったのも最近だね。これからは、自分の体調管理も含めて、気の合う友達を作り、経験を生かし、時には冒険して、さらにアクティブな毎日を過ごして欲しいと切に願っています。そんな私のお父さん同様、「会社(の役に立つ)人間」から「社会(の役に立つ)人間」へ、乗り換え時期の迫ったお父さん世代に、こちらの書籍をご紹介します。【H】



人間接着力 回塊世代よ、新友をさがせ

著者/青木匡光

肩書きが無くなった後の「人の輪の広げ方」がわかる本。「自己紹介の工夫」や、「各種交流会でのふるまい方」に加え、「手間ひまかけても(自分オリジナルの)『会』をつくるメリット」など、新しい友達づくりの一步をウィットに富む文章で綴る。



熟年1人起業

著者/沼波正太郎

某CMではないが、今ある資産を何に使えばいいのかが、迷いどころ。先細りするくらいなら、退職を期に「1人起業」という前向きな自分に投資しては? 「雇用ゼロの実現」から「雇用は自分で作る」時代へ、具体的な準備と方法、豊富な実践例を掲載。

他に新しい人生の扉を開きたい人に
ピッタリの書籍が揃ってあるぞい。
読まなくてもわかっておるとな?
それなら良いが...



こっそり読むなら市民活動センター「書籍の森」に来るがよからう。

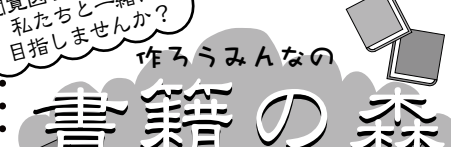
松阪発信!! 市民活動の情報紙〜 AROMA

松阪発信!! 市民活動の情報紙〜 AROMA
TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

会議室 大会議室...机10 椅子30 (600円) 機材等 印刷機(紙持込) / コピー機
小会議室1...机4 椅子12 (150円) マイク/プロジェクター 他
小会議室2...机6 椅子18 (200円) 会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。
小会議室3...机4 椅子12 (150円) 利用申込 申請書類は窓口でご記入いただくか
外会議室...机8 椅子24 (400円) お電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ <http://www.katsudou.com>
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報) <http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/>
▼ 市民活動情報サイト(携帯版) <http://genki365.net/gnkm/i/>
※ドメイン指定受信を設定されている方は「ma.genki365.net」を受信できるように指定してください。

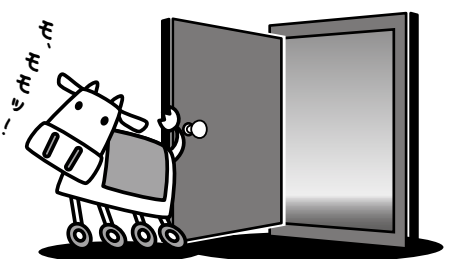
書籍の森



ご協力ありがとうございます。

引き続き書籍の寄贈を募集中です。

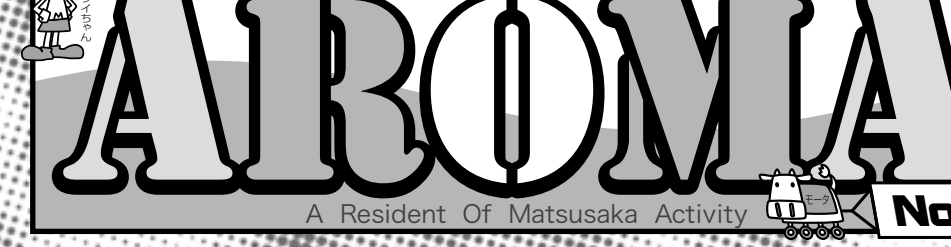
松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料



文字と文字の間を縫う... チラッと編集後記

私、悩んでいます。最近おなかの周りに付きました、余計なお肉のことで悩んでいる訳ではありません。前屈しても、指が地面に付かない体の硬さに悩んでいる訳でもありません。私の悩み...それは、AROMAの編集方針です。より市民活動を知ってもらうには? 面白い紙面作りとは? ずすぎ過ぎず、堅過ぎない文面のバランスは? 等々、悩み事は尽きません。こんな私に、この悩みが解消される秘訣を教えてください!...という他力本願な性格も悩みのひとつです。【S】

松阪発信!! 市民活動の情報紙〜 AROMA



発行...松阪市市民活動センター
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜~土曜日/10:00~22:00
TEL 0598-25-3801 ▲予約専用
0598-26-0108
FAX 0598-25-3803
E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

ちよっと気になる 団体の話
今回取材させていただいたのは...
【特定非営利活動法人みえ自然・文化財保護サークル】さんです

私たち人間の歴史や文化と密接に関わりを持つ自然。この表現は決して大袈裟ではない。文化財としての歴史的建造物は、そのどれもがごく当たり前に自然と調和し、現在もその姿を保ち続けている。こうした文化財は、私たちの住む松阪にも数多く存在する。「自然を守ることと文化財を守ることは、結果的に同じなんですよ」と話すのは、今回取材させていただいた「特定非営利活動法人みえ自然・文化財保護サークル」の新田さんだ。新田さんの所属するこのNPO法人は、その名が示す通り文化財と自然の保護、調査、研究、文化振興など幅広い視野で活動している。法人格を取得したのは今年3月。全国的に見ても文化財の保護を目的としたNPO法人は珍しい。「文化財の保護」=「行政の仕事」として捉えてしまいがちだが、当然のように行政の手の行き届きにくい部分も存在する。NPOの活動分野は多岐にわたる。中でも行政や企業だけでは行き届かない部分を補うこと、また、より地域に密着し、課題解決に向けて活動することはNPO活動の根幹の部分だろう。

2つの団体が1つになることで活動の幅が広がることは想定出来た。しかし、今後の活動展開、行政との協働、社会的信用度の向上等も含め検討した結果、このまま任意団体として活動を続けることに限界を感じた。法人化のメリットが大きいと判断した新田さん達は法人格取得に向け準備委員会を設立。活動の基礎となる定款の作成も含め会議を繰り返した。法人化直後地元新聞に大きく取り上げられる等、広報にも力を入れており、当初40名程だった会員数は現在、70名を越えるまでになっている。団体の法人化については行政への報告義務や、課税対象としての補正等デメリットと言える部分も少ない。しかし、1つの人格として「契約出来る(銀行口座等)」、「資産所有が可能(事業不動産、車両等)」等は大きなメリットと言える。他にもメリットのひとつとして上げられるのは、やはり社会的信用度の向上だろう。国のお墨付きではないにしても、様々な義務の発生する法人格を有するからこそその信用だろう。



この団体は 法人格を取得して6ヶ月程とまだ回は浅いが、法人格取得以前は2つの任意団体として各々で活動を展開していた。1つは公民館の生涯学習事業として発足した「文化財探訪サークル」、文化財を実際に見て学ぶ任意団体だった。もう1つは、教育委員会等が主催する歴史体験事業の協力団体「古代体験イベント事業実行委員会」だ。どちらも嬉野地域を拠点とし、共に「文化財」にまつわる活動という点で結びついた。共通の視点を持つ2つの任意団体がそれぞれの活動を続けるより、より主体的な活動の輪を広げ、社会への還元も考えて1つの団体として相關関係を結ぶことにした。更に文化財との関係も深い「自然」というテーマを新たに取り入れ、活動の幅も広げた。組織内には「文化財部会」と「自然部会」の2つの部会が存在し、それぞれが月に1回、定例会として文化財探訪、自然観察会等を実施している。会員は自分の興味のある部会に参加出来る。両部会に参加することも可能で、より深く地元の自然、歴史や文化について学ぶことが出来る。

短期間に70名を越す会員を抱えるまでに成長したこのNPO法人。「理事に名を連ねる面々は皆、個性が強く志も高い」と、新田さんは話す。主要メンバーの個性の強さは時に意見の相違もある。しかし、皆の意思は決してバラバラではない。最終的に目指す方向(ミッション)は同じなのだ。法人化を機に、文化財部会の定例会では地元嬉野地域の文化財を改めて再認識するために、任意団体の頃に一度訪れた文化財にも目を向け探訪している。こうした原点復帰は、急成長を遂げる団体の意思統一にも繋がるのではないだろうか。法人名が「まつさか」ではなく「みえ」となっている点にも注目したい。現在は基盤固めも含め嬉野地域が主な活動拠点となっているが、「今後は活動範囲も広めていきたい」と意欲を見せる新田さん。行政にはない民間のフットワークの軽さを活かした活動に期待がかかる。法人格の有無を問わず民間だからこそ気付く部分、着手出来る活動が存在する。これからの時代、官民協働はもちろん、市民主体の活動はより一層求められる。私たち市民の一人ひとりが、その力を秘めているのだ。

NPO法人みえ自然・文化財保護サークルへのお問合せは...【事務局】 TEL: 090-4182-3838 mail: shizen-bunkazai20327@ezweb.ne.jp

涼を呼ぶ 楽しく省エネ 打ち水大作戦 2008

去る7月22日、松阪駅に程近い中心市街地の商店街を訪れた方は、各所で「打ち水」をご覧になったかもしれません。この日は、暦の上での「大暑」。熱気の上がるアスファルトには陽炎が立っていました。そんな中、松阪市市民活動センターの呼びかけにより賛同いただいた約70店舗と、呼びかけにもご協力いただいた市民活動団体とともに、「打ち水大作戦」を実施しました。当日は、スタッフ全員、センターのあるカリヨン広場前に集合、浴衣や甚平姿で「打ち水」です。隣に事務所を構える松阪市自治会連合会の事務局長も一緒に水を打ちました。地表の温度は32度から31度へ。一定の効果はあるようですが、もう少し下げたいところ。その課題は来年に持ち越ししましょう。涼しい風を感じたスタッフが一言「打ち水が、松阪の夏の風物詩になっていたら、かっこええなあ」。そう、こんなお金も手間もかからない方法でみんながいつになれるなんて。楽しく省エネ「打ち水大作戦」、来年はあなたも一緒に打ってみませんか？

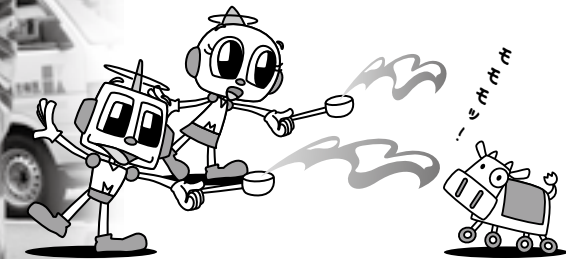


センター「打ち水」にほれ話…これぞ商店街のあたたかさ！

開催前日、参加店舗を何件かたずね歩いてみました。正直なところ、たくさんの参加表明をいただいたものの、「2次利用水を使って欲しい」ということがちゃんと伝わっているのか半信半疑だったので…。しかし、「いつもウチは打ち水やっているのよ。水道水やけどな。今回は水道水ではあかんのやろ」という声や、カレンダーに丸を付け「お風呂のお湯を抜かないこと」と書いてくれているおかみさん、「店長が、雨どいの水を溜め続けている。けっこ溜まるのよ」と驚いていた販売員さん、庭の鉢に1週間溜めた雨水を「ほれ」と見せてくれた店主など、「伝わって良かった」とホッとしました。参加していただいた皆さん気さくな人ばかり。地元商店街のあたたかさっていいですね。

打ち水大作戦とは？

「打ち水大作戦」は、東京のNPOが、ヒートアイランド現象を抑えるため、江戸時代に家の前や店先で行われていた「打ち水」をみんなで一斉に行い、真夏の温度を2度下げようという取組みで、2003年に実施したのがはじまりです。その後、手軽さと楽しさ、環境意識の向上もあり、現在では、NPOを中心に全国的な広がりを見せています。当センターはこの本家「打ち水大作戦」の取組みに賛同し、「キャンドルナイト」に続く、環境意識啓発活動の一環として松阪での実施を呼びかけました。短期間の呼びかけでしたが、驚くほどの参加表明をいただきました。これを機に皆さんの環境に対する意識が、さらに高くなるといいですね。



※打ち水をする際は、周りに人がいないか注意してね！

センター&学生参画で大盛況! セタまつり・鈴の音市

8月2日(土)夕刻、「セタまつり・鈴の音市」が開催されました。この日、7月の祇園祭の余韻冷めやらぬ松阪市中心市街地は25,000人の来場者で賑わいました。今回の祭では、今年5月、6月にセンタースタッフが実施した「書いて(描いて)伝える講座」の受講料を元に、センター初の試みでもある「学生のボランティア活動支援事業」を取り入れました。この事業は、NPOや、ボランティアに興味のある学生に、当センターがお祭りという参加しやすい「環境」と、「運営資金」を提供するものです。この取り組みに「街に賑わいを」という熱い想いを持った三重中央大学の学生が賛同。ボランティア部を中心とした有志10名が、当センターと横並びにブース出店という形で、お祭りに参画しました。学生ブースでは自主企画、自主運営による新聞紙やミニカーを使ったゲームコーナーや、射的コーナー等が実施されました。辺りには来場者の歓声や笑い声が響き、しゃぼん玉の演出では和やかな雰囲気が漂っていました。学生の



威勢の良い呼び込みの声に、センタースタッフも少々押されぎみ(?)ではあったものの、お揃いのスタッフTシャツに身を包み、負けじとアピール。即興の企画講座やゲストを招いてのトークショー等、道行く人を立ち止まらせたマイクパフォーマンス「ひとりマイク」や、松阪ケーブルテレビとの協働番組「だから、市民活動!」の過去放送分をスクリーンに投影する等、行き交う人々を市民活動をPRしました。センターと学生のコラボレーションによる「見る!」「聞く!」「楽しむ」と三拍子揃ったブースは終始賑わい、訪れた人は楽しい一時を過ごされたようです。地元学生との協働は初の試みでしたが、準備段階から打合せや、メールのやり取りを重ねた結果、大盛況のうちには一大イベントを終えることができました。今後も当センターでは、街のお祭りという特定のシチュエーションに絞らず、様々な場面で学生との協働を展開していきたいと考えています。

事業予告 10月下旬から松阪駅前で行われる「ネクストドア」について、チラリとご紹介

～ 街と自分・再発見塾 ～

ネクストドア

NEXT DOOR

同じ趣味の仲間がほしいわ。

「ものしり」と言われたいね。

学びの扉を開こう

特技や専門知識を役立てたいなあ。

まちづくり活動に興味があるけれどまったく経験がない。

人生の転機を迎えた方々を対象に、お持ちの個性や能力をより発揮できる「ネクストドア」を実施します。自力を高め、街の魅力を再発見すると、さらに松阪のことを好きになるはず。「学び」は人生を豊かにしますね。まずは この新しい扉をノックしてください。

- 人生の転機を迎えた方々 ■ 例えば…
- 退職後の充実した時間を求めている
 - 仕事以外に生きがいを求めている
 - 子育てを終え、何かを始めたい
 - NPOや地域活動に興味がある
 - アフター5に新しい学びを探している
 - 自分を見つめ直してみようと思っている
 - 学ぶこと、チャレンジすることが好き
 - 松阪をもっと知りたい などなど…

さて、どのような「ドア」があるのでしょうか？

チャレンジのドア…【講師募集】

得意なこと、趣味の内容を話して講師謝礼を得てください。あなたの知識や専門性の力を求めています。学んだ方から「役に立ちました」「いい話でした」と喜ばれると嬉しいですよ。

- 1 会社で得た知識や技術を伝える
- 2 NPOや市民活動の専門知識を語る
- 3 ちょっと自慢できる趣味やマニアの話で楽しむ

例：「小学生に囲碁、将棋なら教えることができるなあ〜」「退職前に広報を担当していたけど、PRのちょっとしたコツなら伝えられるよ」

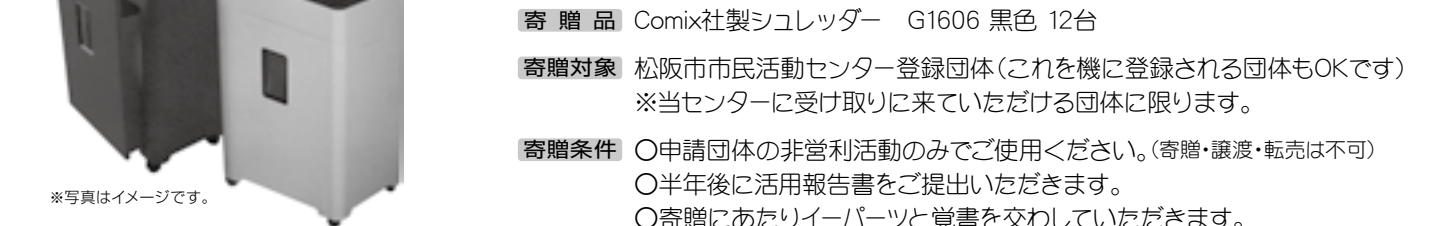
仲間のドア

趣味の仲間や、楽しいサークルを作ってみませんか？ ※このドアは皆さんがテーマを設定できます。

- 1 「街のイベントを実施してみたいが、未経験の20〜30歳代」サークル
- 2 「転勤族の旦那さんとともに松阪に転居してきて、5年未満の奥様」サークル

他にも、いろんなカタチや色の「ドア」を用意していきます。ドアは、皆さんのご希望を聞きながら増えていきますよ。あなたのドアを作ってもいいですね。詳細は決定次第、ホームページに掲載します。ご期待ください。 **ホームページ: <http://katsudou.com/>**

シュレッダーを寄贈します!



- 寄贈品** Comix製製シュレッダー GI606 黒色 12台
- 寄贈対象** 松阪市市民活動センター登録団体(これを機に登録される団体もOKです) ※当センターに受け取りに来ていただける団体に限ります。
- 寄贈条件**
 - 申請団体の非営利活動のみでご使用ください。(寄贈・譲渡・転売は不可)
 - 半年後に活用報告書をご提出いただけます。
 - 寄贈にあたりイーパーツと覚書を交わしていただけます。
- 申込方法** 専用申込用紙に必要事項をご記入の上、郵送、またはメールにて当センターにお送りください。センター窓口に直接お持ちいただくことも可能です。 ※申込用紙はセンター窓口に設置の他、当センターホームページの「シュレッダー寄贈」のバナーをクリックしていただいた先からもダウンロード出来ます。
- 申込締切** 2008年8月31日(当日消印有効)
- 寄贈決定結果通知** 申し込み多数の場合は抽選で寄贈団体を決定させていただきます。寄贈団体には9月5日を以てメールまたは郵便で通知いたします。
- 申込先お問合せ** 〒515-0084 松阪市日野町788カリヨンプラザ3F 松阪市市民活動センターメール katsudou@ma.mctv.ne.jp TEL 0598-26-0108 (担当/福井)

市民活動PR番組【だから、市民活動!】出演団体募集

みんな!「だから、市民活動!」はもう見てくれたかな? 知る人ぞ知る「NPOや市民活動の世界をギュッと濃縮」した5分間番組、近くの小学生から、OLさん、ご近所のおじいちゃんまでご存知の番組になりつつあります。みんなありがとう。出演者さんもありがとう。ケーブルテレビさんありがとう。着実に人気上昇中の本番組が、めでたく下半期も放送できることになりました!(パチパチ!) そこで…「テレビに出て、我らの活動の魅力をぜひとも伝えたい! みんなに知ってもらいたい!」という市民活動団体を大募集! 前回の募集では、アロマ掲載後、即定員オーバーになっちゃいましたから(ホント)、みなさん広報PRの大切さを良くご存知なんですね。「テ、テレビなんて、どうしたらいいの…」と迷ったら、お気軽にご相談ください。放送日時、放送回数、放送エリアなど、詳しい情報は<http://katsudou.com/>(松阪市市民活動センターHP)からご覧いただけます。また、放送エリア外にお住まいの方にもご覧いただけるよう、インターネットの動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)から、当番組の配信を開始。検索枠に「だから、市民活動!」と入力して、検索してみてくださいね。皆様のご応募をお待ちしています。



出演ご希望の団体は、当センターへE-mailでお申し込みください。件名に、「だから、市民活動! 出演希望」、本文に「団体名」「担当者名」「希望する取材内容」をご記入ください。追って担当者から連絡を差し上げます。お申し込みはお電話でも結構です。 **X-ml katsudou@ma.mctv.ne.jp TEL 0598-26-0108 (担当/林)** ※公平性、公共性を保つため、取材先は検討の上、決定させていただきます。

制作・編集：NPO 法人Mブリッジく松阪市市民活動センター指定管理者、放送：松阪ケーブルテレビ 8ch

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎)【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、左記をメールで送信ください。①未発表作品に限ります。複数応募も可) ②氏名(雅号、筆名でも可) ③住所、電話番号【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp【締切】平成20年9月30日 必着【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて。曾もございませんが、嬉しい川柳を川柳で楽しもう！

※作品の著作権並びに発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。 ※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。

暑い夏が過ぎかかると「こころ暑いと動きたくないね」という方も、脳みそはしっかり働いてるはず。脳みそフル回転でひねりを利かせた、あなたの一句お待ちしています。

耳省エネ

聞いてるフリの耳省エネ

打ち水すれば、こころ涼し

ジェンハヤシ

妻の愚痴

人は日々進化してるんですね! ついに身体機能まで進化出来るようになったか! (笑)

センター長の独り言 その昔 本店宣長と賀茂貞綱が出会った場所に、このセンターがあります。「宣長電子データ制作の会」さんが作成された素敵な案内パネルには、「ここは再び出会いの場となる」と記載。登録数も300団体を突破し、センターがここに位置することは大正解だと実感してます。

負けじと副センター長も独り言 市民活動、NPO、ボランティアなど分りにくい用語を分かりやすく説明するため、もっか猛勉強中!(受験勉強以来?)